

フィリピン

地方通信施設拡充事業(II)



本事業で建設された交換局

[借款概要]

承諾額/実行額	5,735百万円 / 5,691百万円
借款契約調印	1988年1月
借款契約条件	金利3.0%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1995年4月

[事業概要]

ルソン島北部地域において電気通信施設を建設することにより、通信事情の改善を図るもの。

[評価結果]

本事業においては、ルソン島北部地域（Region I / II）の通信施設の拡充を対象とした第1期事業（17交換局、約11万回線の増設等）が1986年に完成したのに続き、11交換局6,680回線の新設及び9局1,560回線の増設の他、伝送路システム（マイクロ4区間、市外ケーブル10区間等）の建設を行った。

本地域のGDPは1989年から1999年にかけて約3倍に増加しており、これに並行して電話需要も拡大したが、本事業（1992年運用開始）の前後でRegion I / IIの電話密度（100人当り回線数）の推移を見ると、1985年当時は0.43 / 0.11であったのに対し、1993年0.63 / 0.23、1997年6.18 / 0.90、2000年6.20 / 1.47と年々増加しており、本事業が同地域の電話需要への対応に寄与したことが窺える。本評価における地域住民のインタビュー調査においても、大半が本事業完成後に自宅に電話をひき、生活環境の改善に効果があったと回答している。

なお、通信施設の運営は民間企業（DIGITEL社）へのリースを通じて良好に行われており、維持管理に問題は見られない。